

災害とは・災害情報の入手方法

災害とは

災害対策基本法では、災害を「暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑りその他の異常な自然現象又は大規模な火事若しくは爆発その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害」と定義しています。(災害対策基本法第2条)

主な災害の種類

地震・津波

地震は地下で起きる岩盤の「ずれ」により発生する現象です。
海底で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するのが津波です。(気象庁ホームページより)

土砂災害

土砂災害は、すさまじい破壊力をもつ土砂が、一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪ってしまう災害です。山腹や川底の石や土砂が集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象を土石流といいます。また、山の斜面や自然の急傾斜の崖、人工的な造成による斜面が突然崩れ落ちることを崖崩れといいます。(気象庁ホームページより)

洪水

大雨や融雪などを原因として、河川の流量が異常に増加することによって堤防の浸食や決壊、橋の流出等が起こる災害を洪水災害といいます。一般的には、堤防の決壊や河川の水が堤防を越えたりすることにより起こる氾濫を洪水と呼んでいます。(気象庁ホームページより)

ため池決壊

全国のため池の多くは老朽化が進行するとともに、近年増加する大雨や大規模な地震の発生、さらに過疎化・高齢化の進行によりため池の適切な管理が懸念されるなど、決壊の恐れが高まっています。(農林水産省ホームページより)

火山災害

災害の要因となる主な火山現象には、噴石、火砕流、融雪型火山泥流、溶岩流、火山灰、火山ガス等があります。また、噴出された岩石や火山灰が堆積しているところに大雨が降ると土石流や泥流が発生しやすくなります。(気象庁ホームページより)

災害情報の入手方法

町や各防災関係機関は、災害発生時や災害のおそれがある場合に、避難情報や気象情報など防災に関する情報を、次の伝達手段を用いて住民の皆さんにお伝えします。



防災行政無線

各種防災情報等を防災行政無線から放送します。防災行政無線には、町内各地に設置している屋外スピーカーと、各家庭の屋内に設置する戸別受信機があります。

ほっとスルメール

各種防災情報等を「ほっとスルメール」で配信しています。登録をすればどなたでも受信できます。登録は、受信したいメールアドレスから anzenjoho@anshin.city.hachinohe.aomori.jp に空メールを送信(または右のQRコードを読み取って送信)するか、専用のアプリをダウンロードしてください。詳細はほっとスルメールのホームページ (<https://anshin.city.hachinohe.aomori.jp>) をご覧ください。



インターネット ・町ホームページ、気象庁ホームページ等(詳細を裏表紙に掲載しております)

その他 ・テレビ ・ラジオ ・緊急速報メール ・広報車

